

あなたの

“その気”が ふくらむ場所。

文化・教育・福祉の充実を重点施策としてまちづくりを進める市の強い要請を受け、日本工学院北海道専門学校が開校したのは、昭和57年4月。

以来、札内の大地から文化を発信しながら、優秀な人材をはぐくみ、社会へ送り出してきました。

今月号では、未来の自分の姿をイメージし、夢を実現させようと頑張っている若者たちの“その気”がふくらむ場所・日本工学院北海道専門学校の学科や進学、就職状況などをお知らせします。

**興味あることを、正しく
未来につなげるために**

↳学科紹介

さまざまな分野のエキスパートを数多く育成してきた日本工学院北海道専門学校。21世紀を担う若者たちが、興味あることを正しく未来につなげられるように、マルチメディア・コンピューター・公務員系、エンジニアリング系、建設系、医療系と多彩な学科をそろえています（13学科紹介をご覧ください）。

**もつと、学習を続けたい
学生のために**

↳大学3年次編入制度

学校教育法の一部が改正され、平成12年度より専門学校から大学3年次に編入できる制度ができました。

日本工学院北海道専門学校からは、



日本工学院北海道専門学校
〒059-8601 登別市札内町184-3
☎ 088888・FAX 080900
ホームページアドレス
<http://www.neec.ac.jp/>

この制度を利用して、これまで19人が大学に進学しています。
制度創設から5年目を迎える来年度も、2人が3年次編入試験に合格しました。

**5年連続で、室蘭工業大学に
合格者を輩出しています。**

**公務員試験合格へ
確かな実績**

昨年度は67人が公務員試験に合格40人が北海道開発局や北海道、登別市などに採用されています。

今年はまだ最終発表されていない試験が多くありますが、防衛庁職員種に5人が合格しています。

また、国家公務員種・防衛庁職員種・北海道職員初級の一次試験を21人が、市町村職員や日本郵政公社職員、警察官などの一次試験を84人がそれぞれ通過しています。

**就職への向けた
親身なサポート体制**

日本工学院北海道専門学校は、就職ガイダンスや就職模擬試験などの時期を早めるとともに、マンツーマンの就職カウンセリングなどを通して学生一人ひとりの就職に対する意識付けを行うなど、学生の就職活動を強力にバックアップ。景気低迷で、求人数が減少する中においても、高い就職内定率を維持しています。

**自動車工学科1期生、
就職が好調にスタート**

昨年4月に新たな学科として設けられた自動車工学科の第1期生の就職が好調にスタートしました。

第1期生は37人で、公務員を希望している学生と自己就職を除く36人のうち、32人がすでに内定。残りの4人も進路選択・受験中で、早々に全員の就職が内定する勢いです。

同校では、内定した学生全員が来年3月に実施される2級自動車整備士の学科試験に合格できるよう模擬試験などの対策を行っています。

※自動車工学科は、2級自動車整備士の養成課程となっており、卒業することを実技試験は免除されます。学科試験は卒業期の3月に実施され、合格することで2級自動車整備士に認定されます。